

銚子川沿い 看板を美しく

NPOなどが協力して清掃

特定非営利活動(NPO)法人ふるさと企画舎は3日、銚子川流域にある看板などの清掃に取り組む。川漁業協同組合、銚子川環境保全会から約15人が参加。上流から国道42号の交差点付近まで、道路沿いにある100枚近い看板類についた汚れを落とした。



看板の汚れを落とす参加者

他地域から注目が集まっている銚子川。看板など

をきれいに保つことで、景観を維持し、訪れる人に対しても川を美しいままに楽しんでもらう意識を持ってもらおうと、5年前から取り組んでいる。

同団体の田上至代表は「環境保全会が立ち上がり、力強い味方ができた。看板が汚れていると、(地域の人が)川を大切にしていけない印象を与えるので、磨いて、大切にしていることを発信したい」とあいさつした。

参加者らはこの後、車に水を積み、2〜3人くらのグループに分かれて作業。雑巾やブラシ、スポンジなどを手に、ほこりがついたり苔が生え

たりしている看板をこすり、表面の汚れを落とすといった。

流域には「川をきれいにしましょう」とか「こみは持ち帰りましょう」「清流日本」を目標として書かれたもののほか、略図のついた案内看板、環境省が設置している「鳥獣保護区」の看板など、種類もサイズもいろいろな看板が立てられている。

雨上がりで、比較的新しい看板は雑巾で拭いただけで汚れが落ち、参加者らはまだ汚れている部分と見比べ「きれいになった」などと話しながら、作業に取り組んでいた。